

令和7年度 第10号 令和8年2月12日



阿久根市立鶴川内中学校

校訓

スクールコンセプト

ともに夢と希望を育む鶴川内中

協 自 自  
調 律 主

一 校 一 風

育てよう花と心と大きな夢を

## 校長室の窓から

## 志

鶴川内中学校 校長

私立高校の入試を終え、いよいよ来月には公立高校入試、そして卒業式と、中学生生活の総仕上げの時期を迎えました。「1月は行く、2月は逃げる、3月は去る」と言われる通り、時の流れの速さを痛感する毎日です。

3年生にとっては、大人数の他校生と競い合う公立高校入試を控え、緊張感も高まっていることと思います。保護者の皆様も、我が子を見守りながら、共にドキドキするような時間を過ごさせていらっしゃるのではないのでしょうか。

人は誰しも、先が見えない不安や、結果の分からないことを前にすると、心が揺れ動くものです。一見、親の心配など気にしていないような表情を見せる子どもたちも、内心では大きな不安を感じているはずです。この「孤独な緊張感」こそが、本人の今後の成長にとって大切な鍵となります。思い通りにいかない葛藤も含め、自分の気持ちとしっかりと向き合っていくことが、人としての成長につながっていきます。この時期、家庭で必要とされるのは、その緊張を和らげるいつもの日常生活であり、心からリラックスできる家庭での時間です。

さて、来る2月14日には、2年生の「立志式」を行います。この式は、かつて武士の時代に行われていた「元服」という儀式にちなんだものです。かつて14歳で大人の仲間入りをしたことに倣い、現在は自分の生き方を深く見つめ直す機会として行っています。

幕末の教育者、吉田松陰は、「志を立てて以て万事の源となす」という言葉を残しました。志とは、将来の夢や職業だけでなく、「どのような人間でありたいか」「何を大切に生きていくのか」という心の軸のことです。松陰は、この志こそが、人として生きるすべての出発点になると説きました。逆に言えば、どんなに苦しい状況にあっても、志を見失わなければ、人は何度でも立ち上がり、前へ進むことができるということです。

これは、これから公立高校入試に向けてラストスパートをかける3年生にとっても同じです。成績の伸び悩みや孤独を感じた時、「なぜ自分は学ぶのか」「将来どんな自分になりたいのか」という「志」があれば、困難は成長への糧となります。

立志式という節目が、生徒たちにとって、「こうなりたい」という理想の自分を描くきっかけになること、そして受験を通して一回りたくましく成長してくれることを、心から願っています。

## 主な行事予定

月	日	曜	2月中旬～3月の主な行事
2	14	土	立志式・記念講演
	17	火	学年末テスト(～19)
	19	木	防災訓練(火災)
	20	金	1・2年授業参観・学級PTA
	25	水	スクールカウンセラー来校
	27	金	PTA役員会
3	4	水	公立高等学校学力検査(～5)
	9	月	送別球技大会・卒業式準備
	10	火	同窓会入会式 卒業式予行
	11	水	第79回卒業式
	12	木	公立高校合格発表
	25	水	修了式・辞任式
	26	木	小中連絡会
	27	金	新入生保護者説明会

昨年の節分は2月2日でした。今年の節分は2月3日、次に2日が節分になるのは2029年だそうです。

さて、今年も立春が過ぎました。立春とは二十四節気のうちの一つです。この二十四節気をそれぞれ三つの期間に分けた七十二候という季節の名前があります。

今は、七十二候の「うぐいすなく」の時期です。山里で鶯が鳴き始める季節です。学校の梅の花も咲きほこり、春はもうそこまで来ています。

公立高校入試までもう少しです。日々の積み重ねを大切にしましょう。

努力目標

基本的な生活習慣の再確立をはかろう。

一事徹底

時間を守り、機敏に行動しよう。

## 入試激励式

1月14日

～これまでの自分の取組を信じて!!～

今年度も入試のシーズンを前に激励式を実施しました。まず、1・2年生代表が激励の言葉を述べ、次に、全員で応援のエールを贈り、そして、ダルマを模した用紙にみんなで書いた激励のメッセージを渡し、最後に、校長先生から激励の言葉をいただきました。

生徒も職員も、3年生それぞれの希望が叶うことを祈りつつ式を終えました。3年生は、その気持ちをしっかりと受け止め、最後まで努力し続け、希望を叶えることを期待します。



## スコラガイダンス

1月14日

～自分の考えや思いを言葉にする技術～

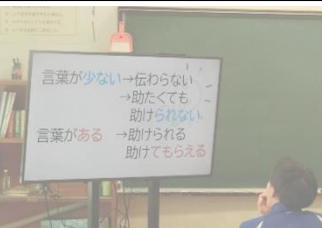
NOLTYプランナーズより講師を招聘して、今年度2回目のスコラガイダンスを行いました。

今回は、基礎コースと応用コースに分かれて、スコラ手帳の使い方を学びました。

基礎コースでは、「いつ、何が、それをどう思っている。」や「理由や経緯、このあとどうする。」を言葉にする練習をスコラで行いました。普段から思ったことや考えたことを言葉にすることが大切とのことでした。

応用コースでは、「明日の自分の行動を1ミリ変えるスコラの活用法」を学びました。いきなり改善策を書くのではなく、原因を観察すること。そのことで、具体的な行動が分かりやすくなるそうです。

これからも、まずは、スコラにいろいろなことを書いて、自分の成長につなげていきましょう。



## 栄養教諭講話

1月20日

～自分の食事について考える時間～

栄養教諭をお招きし、食について話していただきました。給食が、中学生に必要な栄養を考えて作られていることやバランスよく食べることの大切さなどについてのお話でした。また、朝食を食べる生徒の方が学力や運動能力が伸びる傾向にあるため、その大切さについても話していただきました。食の大切さについて意識を高めるよい機会となりました。



## 入学説明会

1月20日

～共に学ぶ仲間を迎えるために～

本校は、1年生が入学説明会の学校紹介などを担当しています。

入学説明会のために、1年生が学校紹介のプレゼンテーションをもとに、紹介の練習をして当日に臨みました。

まず、学校施設を案内し、授業参観をしてもらいました。

次に、準備したスライドを使って中学校の生活について説明しました。緊張しながらも丁寧に説明し、参加者のみなさんに鶴川内中学校の学校生活や行事などについてよく理解してもらえたようでした。

4月から共に中学校生活を過ごすことを楽しみにしています。



## 標準学力検査(東京書籍版)

～取組の成果と課題を確認～

12月に実施しました標準学力検査の結果が届きました。受検した生徒には、結果を踏まえ、今後の取組について考え、学年が上がる前にしっかり身に付けられるように話をしていきます。

また、職員研修で課題を把握し、それに対する対策を考え、それらの取組を進めていきます。

ICTの活用や授業の工夫を図り、特別支援教育の視点をもって、個への学びの最適化を図り、希望の進路先に進めるよう取り組んでいきます。

さらに、検査方法がCBTに変わったことによる誤答もありました。このことから、CBTでの受検方法に慣れるための取組の機会を増やしていきます。